

取扱説明書

LED照明器具

HITACHI
Inspire the Next

保存用

高出力LEDダウンライト(埋込穴φ200タイプ)

日本国内用

型式				
光源色	FHT42形4灯相当	FHT42形4灯相当節電・低照度	FHT42形3灯相当	FHT42形2灯相当
昼光色	LDE94AN(M)D-JX14A	LDE74AN(M)D-JX14A	LDE54AN(M)D-JX14A	LDE34AN(M)D-JX14A
昼白色	LDE94AN(M)N-JX14A	LDE74AN(M)N-JX14A	LDE54AN(M)N-JX14A	LDE34AN(M)N-JX14A
白 色	LDE94AN(M)W-JX14A	LDE74AN(M)W-JX14A	LDE54AN(M)W-JX14A	LDE34AN(M)W-JX14A
温白色	LDE94AN(M)WW-JX14A	LDE74AN(M)WW-JX14A	LDE54AN(M)WW-JX14A	LDE34AN(M)WW-JX14A
電球色	LDE94AN(M)L-JX14A	LDE74AN(M)L-JX14A	LDE54AN(M)L-JX14A	LDE34AN(M)L-JX14A

●初期照度補正・連続調光(100～約20%)兼用形

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。
ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



実行していただく「指示」
内容のものです。

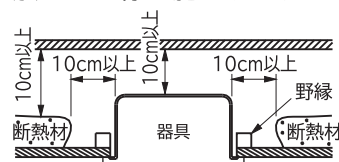
工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)



警告

- 取付工事は「取り付けかた」に従い、確実に行う。※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 本器具は一般の埋込み器具です。断熱材・防音材をかぶせて使用しない。
使用する場合は下図のように器具との隙間を10cm以上離すこと。※火災の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上離すこと。器具の近くに可燃物等(ドアの開閉範囲、家具、布、紙等)を近づけない。
※過熱による火災の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の器具外郭が、天井内の造営物・ダクト・電気配線等の設備に触れない様に施工する。
※火災の原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)以外の電圧で使用しない。
※火災・感電の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



注意

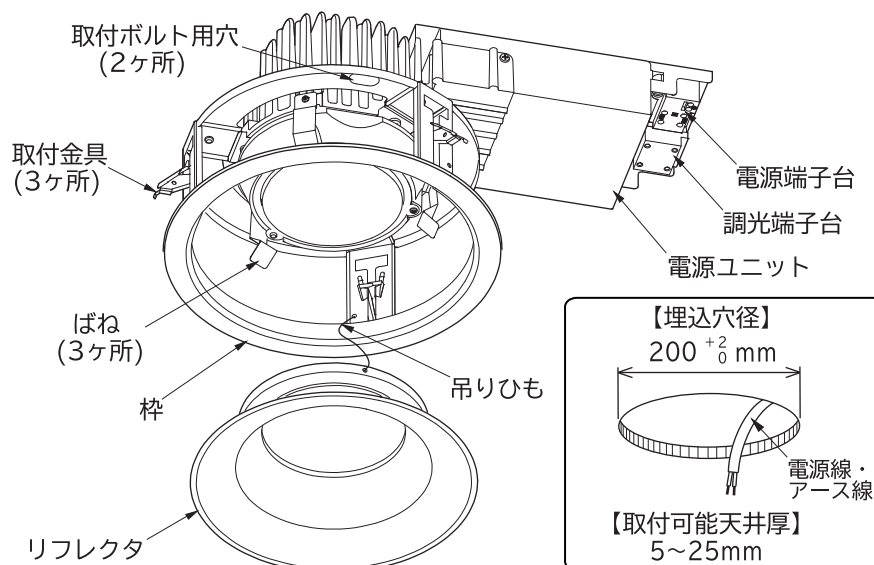
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。
※器具の破損によるけがの原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しない。※火災・感電・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- 電源入力部に電源スイッチ等を設置する場合は、必ず活線側に電源スイッチ等を設置(両相とも活線の場合は両相に設置)する。※早期故障・電源オフ時にLEDが微発光する原因となります。

その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※故障の原因となります。
- 当社専用信号線方式の制御装置以外と組み合わせて使用しない。※動作不良・不点灯の原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、器具の接続台数に注意する。
不要動作を防止するため、感度電流30mAの高周波対応形漏電ブレーカーで最大50台としてください。
- 部屋内と天井裏の温度差が大きく、器具に結露が発生するような環境では使用しない。※不点灯・腐食・短寿命の原因となります。

各部の名前

※取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です



取り付けかた

1 取付前に確認する。

- 器具質量(2.3kg)に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
- 補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。
ロックウール、珪酸カルシウム板等、柔らかい天井に取り付ける場合は天井材損傷、枠と天井面の間に隙間ができることがありますので、天井上面と取付金具の間に補強材を入れてください。
※不備があると天井材の破損、落下の原因となります。

2 天井に埋込穴をあける。

- 指定埋込穴径 $\phi 200^{+2}_0$ mmであける。
- 埋込穴をあける際は専用工具を用いてあける。

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する。(図1)

- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。
- アース工事はD種接地工事を行う。
- 電源線は器具外郭に触れずに、断熱材・防音材の上側にくるように配線する。
- 電源線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押してはまず。アース線を解除する場合は、マイナスドライバーを解除用穴に挿入してはまず。

4 調光信号線を調光端子台に接続する。(図2)

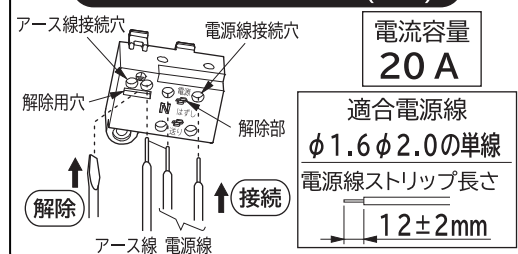
- 調光信号線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。
- 制御装置への接続は、制御装置の取扱説明書にしたがい作業する。

5 器具を取り付ける。

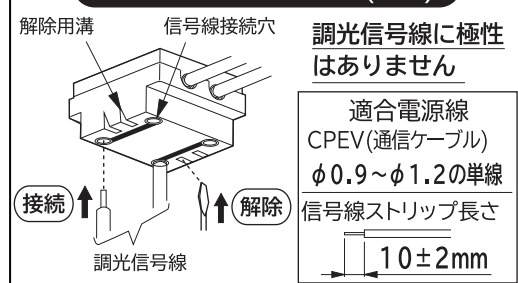
【取付金具で固定する場合(図3)】

- ① リフレクタを押し上げて取り外す。吊りひもは引っ張りすぎると、切れる恐れがあります。
- ② 取付金具(3か所)を上の方へ引き上げておく。
- ③ 取付金具を矢印の方向に押さえて、電源ユニット側より器具を埋込穴に挿入し、枠を押し上げて挿入する。
- ④ 器具が仮止め状態になっていることを確認する。
- ⑤ 取付金具を引き下げて、器具を確実に固定する。
※取り付けに不備があると落下の原因となります。
- ⑥ 吊りひもを挟み込まないようにリフレクタをばね(3か所)に合わせてまっすぐ押し上げる。
※取り付けに不備があると落下の原因となります。

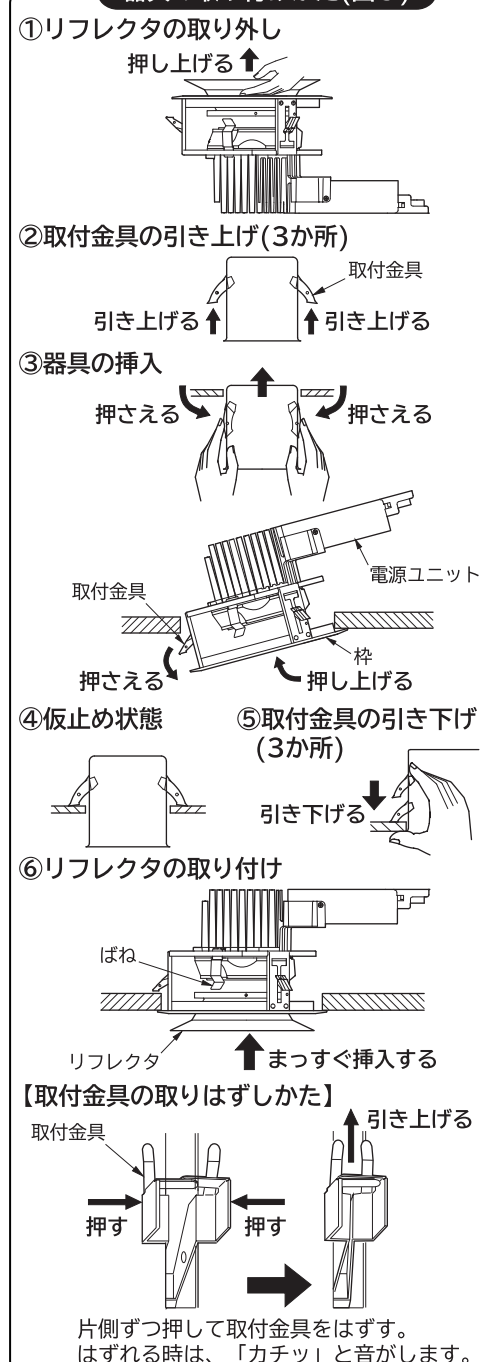
電源端子台の接続と解除(図1)



調光端子台の接続と解除(図2)



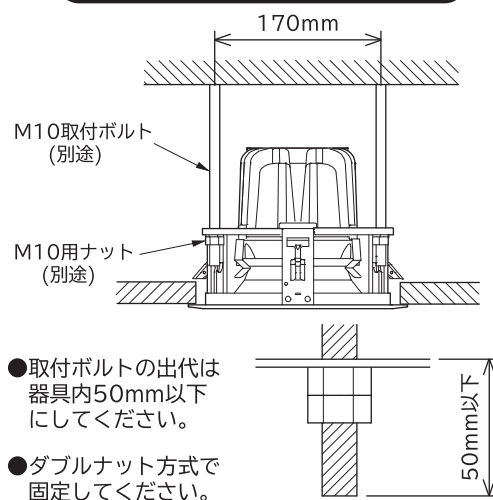
器具の取り付けかた(図3)



【取付ボルトで固定する場合(図4)】

- ① リフレクタを押し上げて取り外す。吊りひもは引っ張りすぎると、切れる恐れがあります。
- ② M10取付ボルト(2本)・M10用ナット(4個)を用意する。
- ③ 器具挿入時に取付ボルトを取付ボルト用穴に通す。
取付ボルトの出代は器具内50mm以下にしてください。
※取付ボルトが出すぎるとリフレクタが取り付けられません。
- ④ ダブルナット方式で器具を確実に固定する。
ナットは締めすぎないように注意してください。
※ナットを締めすぎると器具が変形し落下の原因となります。
- ⑤ 吊りひもを挟み込まないようにリフレクタをばね(3か所)に合わせてまっすぐ押し上げる。
※取り付けに不備があると落下の原因となります。

取付ボルトの取り付けかた(図4)



6 取付後に確認する。

- ① 器具が確実に取り付けられているか確認する。
※枠と天井面に隙間がないか確認してください。
- ② リフレクタが確実に取り付けられているか確認する。
※枠とリフレクタに隙間がないか確認してください。
- ③ 電源を入れ点灯確認する。

お客様へ この取扱説明書は必ず保存してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 警告

- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具の隙間に金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上離すこと。器具の近くに可燃物等(ドアの開閉範囲、家具、布、紙等)を近づけない。
※過熱による火災の原因となります。

⚠ 注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。
※火災の原因となります。
- 器具に物をぶつかけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。
※器具の破損によるけがの原因となります。
- LED光源を直視しない。※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

ご使用上の注意

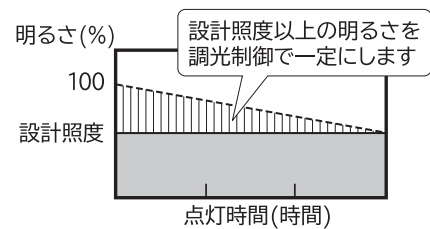
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても作動しないことがあります。
- 器具の近くで同時通訳機等の誘導無線やワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に作動しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色・明るさにバラツキがあります。同一型式の器具でもLED素子のバラツキによる発光色や明るさにムラが生じることがあります。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所(温泉地など)での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 制御装置と組み合わせて使用しない場合には、初期照度補正形となります。
連続調光形として使用する場合は、専用の制御装置(日立製)と組み合わせてご使用ください。

初期照度補正機能について

室内の設計照度は寿命時の明るさで設定されているため、新しい照明器具は設定以上の明るさが出ています。
初期照度補正機能とは設計照度を考慮して、明るさを調光制御で一定にして省エネをはかる機能です。
明るさを重視するときは照度補正機能を解除して、その時の100%の明るさにすることもできます。

初期照度補正機能を解除したい場合 電源ONにして、下図の操作を行ってください。

※壁スイッチで操作する場合は、同一スイッチ回路に接続されたすべての器具が解除されます。
※操作後、明るさが変化しない場合は、解除操作が正しく行われていません。再度、解除操作を行ってください。



●照度補正機能に戻す場合も上記の操作を行ってください。(累積点灯時間はリセットされてます。)

ご使用上の注意

- 照度補正機能解除操作を行ったときに、万一、同一スイッチ回路に接続された器具の照度補正と定格出力の状態が混在した場合は次の操作をしてください。すべての器具が累積点灯時間タイマーがリセットされ、照度補正機能動作状態になります。【電源ON状態から、電源OFF(1秒以下)→電源ON(1秒以下)を16回繰り返す】
- 器具の汚れに対する補正はできません。定期的に清掃をしてください。
- ホタルスイッチの仕様によっては、リセットができません。

仕様 ●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

器具タイプ	定格入力電圧(V)	周波数	入力電流(A)			定格消費電力(W)			平均消費電力(W) ^{※1}		
			100	200	242	100	200	242	100	200	242
FHT42形4灯相当	AC100~242	50/60Hz	0.717	0.356	0.297	70.9	69.3	69.3	62.3	61.0	61.0
FHT42形4灯相当 節電・低照度			0.586	0.294	0.247	57.8	56.9	57.0	50.7	50.0	50.2
FHT42形3灯相当			0.435	0.219	0.186	42.9	42.1	42.3	37.6	37.1	37.3
FHT42形2灯相当			0.293	0.147	0.122	28.9	28.6	28.6	25.4	25.2	25.2

※1 初期照度補正による電力変化の平均値です。

お手入れ (必ず電源を切ってから行ってください)

- 必ず守る** 枠・カバーがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたらきれいな布を水またはうすめた中性洗剤に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。
- 禁止** ●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・アルカリ系洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。
割れ・傷・変色・サビの原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。

保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、点灯装置は3年間です。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または照明サービスセンターに器具の型式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話(0120) - 335 - 762 受付時間：土日祝日を除く9:00 - 17:00

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社